

こんな生き方あったんだ!?

～農業・漁業・林業・NPO/NGO・僧侶…
多様な働き方・生き方を通して見るもう一つの社会～

第2弾 まちづくりにこだわって被災地に関わり続ける



7月24日(月)18:30～

講師：宮定 章さん(認定NPO法人まち・コミュニケーション)

場所：被災地NGO協働センター

(神戸市兵庫区中道通2-1-10)

参加費：2500円(食事代込) / 1500円(学生)

被災地の復興に欠かせないのが、被災前の価値観からの転換を図ること、つまり、「もう一つの社会」を実現することです。価値観の転換には、第一次産業のように地元で根ざした仕事をしている方や、NPO/NGOのような非営利のセクターで働く方など、「もう一つの働き方・生き方」を選択する人が増えていかなければ難しいと考えられるでしょう。今回の寺子屋シリーズでは、実際に「もう一つの働き方・生き方」を選択し、実践を続けておられる方々をお招きし、①なぜその活動(仕事)を選んだのか?②なぜその活動(仕事)を続けているのか?③その活動(仕事)を通して生き方(や人生)がどう変わったのか?という3つの視点からお話をお聞きし、「もう一つの社会」に欠かせない要素とは何かを解き明かしていきます。

講師プロフィール

1975年西宮市生まれ。特定非営利法人まち・コミュニケーション代表理事。大阪大学大学院建築工学科、神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。博士(工学)。2000年から神戸市長田区御蔵通などの復興まちづくりを支援する「まち・コミュニケーション」に参加。2003年防災功労者内閣総理大臣賞受賞。2012年3月から宮城県石巻市雄勝町で支援活動を開始。2016年の熊本地震でも支援活動を展開している。

講師からのメッセージ

被災地などで地域づくりに取り組んでいます。地域が本当の復興を果たすために大切なのは“地域が何を失ったのか”“復興で何を取り戻すのか”を自覚することだと思います。

そこで、地域資源への気づきを促すことを目的に、聴き取り調査をしています。地域資源を探し、未来をつくる仕事について、一緒に考えてみませんか?

申込/問合せ
※食事の都合のため要申込

被災地NGO協働センター
TEL:078-574-0701
E-mail:info@ngo-kyodo.org